

岡水お起第462号
平成30年2月15日

岡山市監査委員 様

岡山市水道事業管理者
水道局長 今川 眞

定期監査の指摘事項の改善措置状況について（通知）

平成29年9、10月実施定期監査における指摘事項について、別紙のとおり措置を講じたので、地方自治法第199条第12項の規定により通知します。

定期監査の指摘事項の改善措置状況（平成29年9・10月実施分）

水道局お客様センター

指摘事項

平成29年7月31日現在、給水収益において過年度分の収入未済額が2,438万円余（収入率97.7%）認められました。
 今後とも未収金の解消に格段の努力をしてください。
 なお、現年度分についても、新たな収入未済の発生防止に努めてください。

改善措置状況

近年の未収金対策では、個人情報保護法により、不動産会社や家主から転居先等の情報入手が困難となり、追跡調査を行うのも難しい状態にある。
 未収金解消には、厳しい現況ではあるが、委託業者に対する監督・指導強化及び連携を深めながら、次の具体的な取組みを推進する。

（具体的な取組み）

- ① 滞納整理業務を委託している業者に対し、現地訪問の回数を増やすことで、未収金を早期回収するように指導している。今後も業者指導を徹底し、未収金の早期回収に努める。
- ② 収納率にインセンティブを適用し、委託業者のモチベーションを高くすることで収納率を高める。
- ③ 検針・滞納整理及び開栓・清算業務に加え、平成29年度から電話受付業務を一括して業務委託することにより、状況を一元的に把握し、未収金の発生及び拡大を未然に防ぐ。
- ④ 平成29年度から納入通知書に口座振替の案内を掲載するなど、口座振替推進の取り組みを強化する。
- ⑤ 郵便局やコンビニエンスストアなど支払窓口の周知により、自主納付の推進を図る。
- ⑥ 無届使用の早期発見、無届転出者の転居先調査（区役所の住民票閲覧）により料金回収に努める。
- ⑦ 委託業者の持つ機動性を活かし、現地調査、休日や夜間訪問徴収など柔軟な対応により確実な徴収を行う。
- ⑧ 滞納常習者の支払計画を精査し、適時見直し等を行う。
- ⑨ 悪質、長期、高額滞納者に対しては、委託業者との連携のもと、給水停止の強化、支払督促など法的措置を講ずることにより、料金回収に努める。

（単位：円）

	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	調定額減額分 D	収入未済額 A-B-C-D	過年度繰越分 収入率
H29.7月末	1,203,511,473	1,175,998,421	2,917,696	212,194	24,383,162	97.7%
H29.12月末	1,203,511,473	1,181,245,384	6,170,368	212,194	15,883,527	98.2%

※調定額は、平成29年4月1日現在の過年度分の未収給水収益額

※調定額減額分は、漏水修理、水道メーター異常等による減額

岡料第8176号
平成30年 2月20日

岡山市監査委員 様

岡山市長 大森雅夫

定期監査の指摘事項の改善措置状況について（通知）

平成29年11月、12月実施定期監査における指摘事項について、別紙のとおり措置を講じたので、地方自治法第199条第12項の規定により通知します。

別 紙

定期監査の指摘事項の改善措置状況（平成29年11, 12月実施分）

料 金 課

指摘事項

○ 収入事務について

平成26年度から平成28年度における料金課で扱う国民健康保険料（税）等の収納率（決算）は総じて向上していますが、平成29年9月30日現在、滞納繰越分の収入未済額が、保育所運営費負担金等において2億5,844万円余（収納率11.6%）、国民健康保険料（税）において28億1,812万円余（収納率14.8%）、介護保険料において2億5,804万円余（収納率12.8%）、後期高齢者医療保険料において5,909万円余（収納率22.0%）、下水道事業負担金等において976万円余（収納率26.2%）認められました。

今後とも、この解消に格段の努力をしてください。

なお、現年度分についても、滞納繰越を生じないように要望します。

改善措置状況

ご指摘のありました滞納繰越分の収入未済額解消につきましては、各保険・事業財政の健全化、負担の公平性を確保すべく、賦課元課とも連携しながら、以下のことについて重点的に取り組んでいるところです。

- 預貯金・生命保険をはじめ、給与照会など滞納者の幅広い財産調査を徹底し、換価性の高い債権の差押を強化する。
- 捜索に取り組み、インターネット公売を定期的実施する。
- 滞納者に対しては、短期証・資格証（国保）等を有効に活用する。
- 独自ツールにより進行管理の見える化を行い、効率的な滞納整理を推進する。
- 賦課・徴収部門が一体となった口座振替推進・居所不明被保険者調査等の取り組みを実施し、賦課の適正化を図る。
- 収納・料金両課の連携を強化し、効率的かつ効果的な催告・滞納処分を行う。

また、現年度分につきましても、滞納繰越を生じないように、納期内納付の確立を目標に、口座振替の推進等に取り組んでいます。あわせて、初期滞納へは、早期対応に重点をおき、発生から1年以内の滞納解消に努めています。

引き続き、合理的かつ効率的な手法や取り組み等を常に工夫・検討し、業務の改善及び徴収執行体制の強化により一層の努力をして参ります。

各料金調定収入状況（平成30年1月31日現在）

（一般会計）

（平成30年1月31日現在）

目	細節	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
民生費負担金	保育所運営費負担金（私立分）（滞納繰越分）	円 157,290,128	円 34,415,624	円 122,874,504	% 21.9
民生使用料	認定子ども園使用料（滞納繰越分）	5,383,150	1,729,800	3,653,350	32.1
	保育所使用料（滞納繰越分）	129,736,807	18,206,159	111,530,648	14.0
滞納繰越分計		292,410,085	54,351,583	238,058,502	18.6

（国民健康保険費特別会計）

（平成30年1月31日現在）

目	細節	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
一般被保険者国民健康保険料	滞納繰越分（医療給付費分）	円 2,147,616,170	円 502,191,666	円 1,645,424,504	% 23.4
	滞納繰越分（後期高齢者支援金分）	726,232,506	171,354,956	554,877,550	23.6
	滞納繰越分（介護納付金分）	327,169,155	76,374,318	250,794,837	23.3
退職被保険者等国民健康保険料	滞納繰越分（医療給付費分）	38,630,866	9,518,525	29,112,341	24.6
	滞納繰越分（後期高齢者支援金分）	12,620,977	3,223,063	9,397,914	25.5
	滞納繰越分（介護納付金分）	11,114,913	2,866,706	8,248,207	25.8
一般被保険者国民健康保険税	滞納繰越分（医療給付費分）	4,762,423	333,283	4,429,140	7.0
	滞納繰越分（介護納付金分）	488,995	23,557	465,438	4.8
退職被保険者等国民健康保険税	滞納繰越分（医療給付費分）	404,512	24,669	379,843	6.1
	滞納繰越分（介護納付金分）	24,364	1,171	23,193	4.8
滞納繰越分計		3,269,064,881	765,911,914	2,503,152,967	23.4

（介護保険費特別会計）

（平成30年1月31日現在）

目	細節	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
第1号被保険者保険料	滞納繰越分普通徴収保険料	円 295,863,422	円 58,588,890	円 237,274,532	% 19.8

（後期高齢者医療費特別会計）

（平成30年1月31日現在）

目	細節	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
後期高齢者医療保険料	滞納繰越分普通徴収保険料	円 75,716,254	円 23,872,427	円 51,843,827	% 31.5

（下水道事業会計）

（平成30年1月31日現在）

目	細節	調定額	収入済額	収入未済額	収納率
負担金等	下水道事業負担金（公共）（過年分）	円 11,630,844	円 3,688,057	円 7,942,787	% 31.7
	下水道事業負担金（特環）（過年分）	1,267,750	267,750	1,000,000	21.1
	分担金（農集）（過年分）	330,000	75,000	255,000	22.7
滞納繰越分計		13,228,594	4,030,807	9,197,787	30.5